

上町台地活性化NPO
「西代官山クラブ」代表

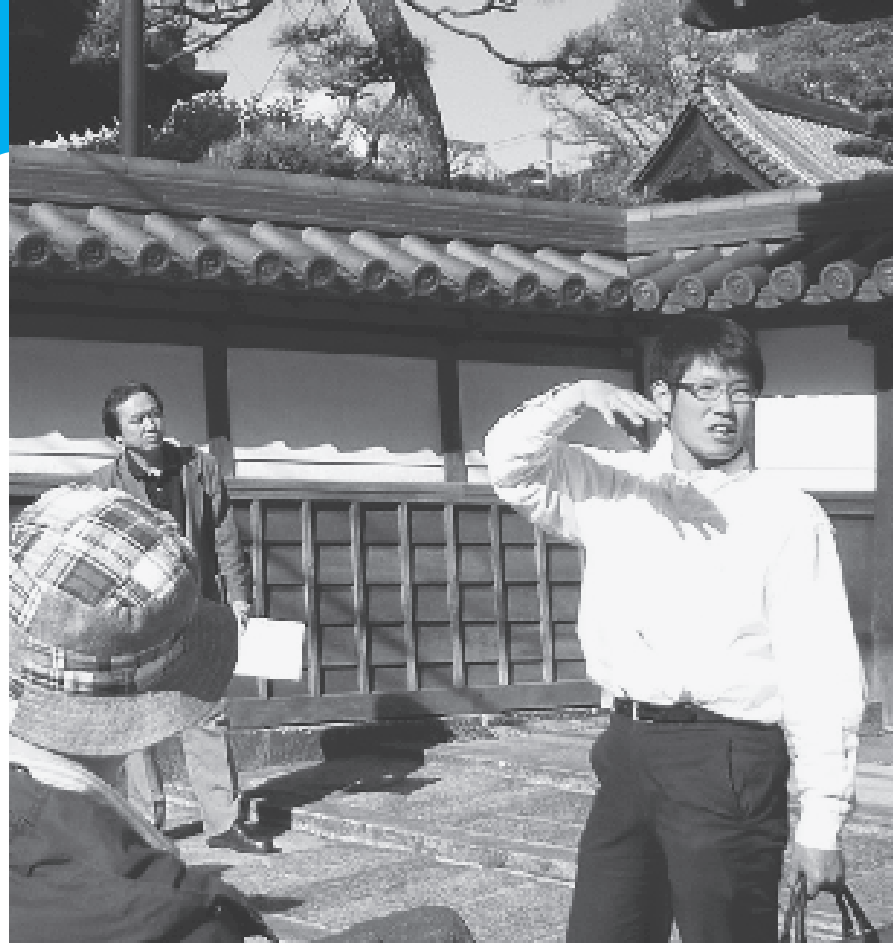
おだぎり さとし

小田切 聡さん



プロフィール

1975年、大阪市生まれ。大学卒業と同時に大手自動車販売会社へ。在職中の00年春から夜間のビジネススクールでマネジメントを学ぶ。02年3月、上町台地活性化NPO「西代官山クラブ」を起し、上町台地界隈を紹介するホームページを立ち上げたほか、イベントや手づくりマップの作成など活動を拡大。03年秋に退社し、観光案内所を併設したレンタサイクル店を開店。これまでの活動に観光ガイドや体験学習、「まち歩きプログラム」なども加え、上町台地からの情報発信を続けている。



西代官山クラブ「春のまち歩き」(天王寺七坂コース)にて(写真・本誌編集担当)

上町台地に、オモロイ大阪あります

「よく、大阪には歴史が無いって言われますが、上町台地に来てもらえれば、十七条憲法制定1400年を迎えている四天王寺のように歴史的なものはたくさんあるんです。一方で商業的にも新しいものがどんどん出来ていて新旧が入り混じった魅力たっぷりのオモロイ大阪が体験できます」と語るのは、上町台地の活性化を目指すNPO「西代官山クラブ」代表の小田切聡さんである。

小田切さんの言う上町台地には、確かに難波宮跡や大阪城、四天王寺など大阪の歴史を代表する史跡・名勝が多い。ちなみにNPO名の「西代官山」は、おしゃれな店が続々と出店し、新しい町として人気スポットとなっている東京の代官山を知る小田切さんが、「今の上町台地こそ、西の代官山や」と、“独断”で名付けたものだ。

クラブは、「上町台地で生まれ育ったり、職場を持つ飲み仲間と始めた」上町台地活性化プロジェクトの一環。地域の魅力を紹介するホームページを立ち上げ、希望者を募ってワークショップ

を開催。また03年4月には手づくりガイドマップの発行にまでこぎつけている。

ここまでは、会社勤めをしながらの活動だった。が、ガイドマップの成功で「やっていることに、間違いはない」と確信。観光都市を目指す大阪府の政策も追い風となったようで、仲間の片岡真さん(27)と共に脱サラし、貸し自転車屋をはじめることになる。もちろん、ただ貸し出すだけではない。「石畳や坂道、夕日を見るならこのコース」「昔ながらに長屋が軒を連ねるのはここ」と、とって置きの観光情報も提供する。

「先日は、NHKさんが番組で(自転車を使ってくれするなど、貸し出し台数も上昇中」と白い歯を見せる小田切さんだが、すんなりと、今日を迎えているわけではない。

上町台地の一角、上本町で生まれた。少年時代は“天王寺七坂”と呼ばれる坂道や、四天王寺が遊び場だった。“商才”を発揮し始めるのは大学生のころ。立ち上げたイベントサークルの企画が面白いように当たり、「学生起業を考えたほど」という。

だが、ある異業種交流会で、「君よりやり手だが、起業して失敗した学生を何人も知っている。甘い考えを捨て、一度社会人の経験を」と経営コンサルタントに指摘される。有頂天になっていた自分への“冷水”だった。シンクタンク勤めの男性から「就職するなら自動車販売会社。しんどい辛いけど、ノルマさえこなせば自分の勉強ができる」と教えられたのもそんな時期である。熟慮の末、起業を断念し就職する。

夜間に受講できる社会人向けビジネススクールに通い始めたのは、「お客さんからも会社からも怒られる日々(笑)」を過ごしていた3年目から。経営戦略やマーケティング、財務・会計などを学び、起業に結びつけた。卒業から5年と5ヵ月後の脱サラだったのである。

学生時代の「儲けるための起業」ではなく、「儲けより社会貢献が第一」と、NPOを活動の中心に据えている小田切さんの、今後の活躍に期待したい。

(文・脇本勤 / 表紙写真・高島悠介)